

# 学校の未来を考える会 vol.04

日頃より、本市の教育行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今号では、2月14日（水）に開催した**第3回 浮島中学校区学校の未来を考える会**の様子をお知らせします。



## グループワークによる意見交換②



第2回会議に引き続き、（ア）浮島小・浮島中のまま存続（イ）施設一体型小中一貫校化（ウ）他の中学校区の学校との統合についてグループワークによる意見交換を行いました。今回は、令和3年4月に開校した戸田小中一貫学校と長井崎小中一貫学校で令和3年度末に実施したアンケート結果のほか、浮島中学校の3年生が公民の授業で適正化について考えた意見を資料としました。



詳細については、ホームページに掲載していますので、裏面の二次元コードからご覧ください。

	期待できる教育環境・よさ						不安なこと・解決すべき課題										
ア 浮島小・中のまま存続	今までの環境がよい	今までと変わらず生活できる	小中の区切りがあり、成長の過程が明確	浮島のよさを生かしたい	将来浮島に戻ってきてくれる環境にしたい	多様な考えに触れられない	児童生徒数が減っていく	小規模校化していることによる課題が残る									
イ 小中一貫校化	工夫して改修したらよい教育環境になるかも	新校舎だと使いやすく学習しやすい	浮島地区で言ち戻って来てくれたらいい	保護者のつながりや子供が育っていく	中1ギャップの軽減	制服をどうするか	校舎は小中どちらにするか	跡施設の活用方法	現状のままでは教室が足りない	小5～中1の学年の特徴は？	教員の負担は本当に減るのか	高学年が専門的な授業を受けられる	教員の負担減	制服は小学校の延長で考慮できる	親の行事参加の負担が減る	通学距離や方法に変わらない	教育にかかるリソースを有効活用できる
ウ 他校区の学校と統合	多様な考えに触れることができる	小中の区切りがあり、成長の過程が明確					他校の子供とうまくやれるか	浮島のよさがなくなる不安	子供の精神的負担が大きい	コミュニティ・スクールが推進しにくい	バス代の負担						
その他の意見																	
子供たちの意見を聞くべき			校区の再編		人口は本当に減っていくのか		浮島のよさをPRして呼び込む		部活動は今後地域移行が進むだろう								

黄色：12/1グループワークでの意見  
水色：2/14グループワークでの意見

## 今年度の意見交換の総括

今年度の3回の「学校の未来を考える会」での協議における委員長による総括は、以下のようになりました。

### (ア) 浮島小・浮島中のまま存続

現在と環境の変化が少ないことがメリットだが、今後児童生徒数の減少が予想され、子供の社会性やコミュニケーション能力の育成、という面においては懸念がある。

### (イ) 施設一体型小中一貫校化

委員の方からの要望を受けて、現大岡南小渡邊校長に話を聞いたことで、施設一体型小中一貫校の様子の共通理解につながった。静浦小中一貫校と比較すると、浮島小中で一貫校化した場合は、バス代の負担がないことや通学路が大きく変わらないことがメリットとして挙げられた。クラス替えができる規模にはならないものの、縦のつながりが強まり、人間関係に広がりが出る、という点も挙げられた。

### (ウ) 他の中学校区の学校との統合

児童生徒数が増えるというメリットはあるものの、通学の心配や地域のよさが失われてしまう懸念がある。大きな災害も他県で起こったが、いざという時のために、地域として学校という皆が集まれる場所があるのは、安心材料となる。



## 浮島中学校3年生の意見等について

浮島中学校3年生の皆さんが、公民の授業で「浮島中学校区の学校規模・学校配置の適正化」についてどう思うか、ホームページに掲載している資料や校長先生のお話をもとに友達と議論し、それぞれの案のメリットとデメリットを考えながら、自分の意見をまとめてくれました。第3回会議では、授業について薬師神校長から説明していただき中学生の柔軟で多角的な視点からの意見に、委員の方から感心する声が多数挙がりました。

中学生の皆さん、貴重な意見をありがとうございました。

一部を紹介します。

### (ア) 浮島小・浮島中のまま存続のメリット

- ・教員が生徒一人一人に向き合いやすい
- ・学年間の友情や結びつきが強い
- ・人数が減っていても、浮島にある文化や伝統を残したい
- ・進学のだきどき・わくわく感や成長している実感が得られる

### (イ) 施設一体型小中一貫校化のメリット

- ・小中の交流が増え、より活発な学校になる
- ・小学生と中学生と一緒に登校でき、通学面で安心
- ・人数が増え、たくさんの人と関わることができる
- ・災害が起きた時の避難場所が統一される

### (ウ) 他の中学校区の学校との統合のメリット

- ・クラス替えができるようになり、コミュニケーション能力が向上する
- ・クラス単位で競い合うことができ、活動意欲が向上する

令和6年度の第1回会議は、5月を予定しています。詳細が決まり次第、お知らせします。

詳細はホームページをご覧ください



## 発行

令和6年3月発行  
沼津市教育委員会 教育企画課  
沼津市御幸町16-1  
電話：055-934-4821  
FAX：055-931-8977  
E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp